

## 令和5年度第2回予防接種対策委員会 会議録

- 1 開催日時  
令和5年11月1日（水）  
開会 午後2時  
閉会 午後3時
- 2 開催場所  
尾張旭市保健福祉センター 2階 201・202会議室
- 3 出席した委員（5名）  
松尾功、佐伯公、加藤誠章、新川成哲、大江英之
- 4 欠席した委員（2名）  
澁谷いづみ、森下雅史
- 5 傍聴者数  
0名
- 6 出席した事務局職員等  
事務局職員  
健康課長 西尾哲弥、健康課長補佐兼感染症対策係長 對島智美、  
健康課感染症対策係 主査 澤田仁美、健康課感染症対策係 主査 廣岡真由美、  
健康課感染症対策係 主事 渡邊丈
- 7 議題等  
(1) 令和4年度及び令和5年度尾張旭市予防接種実施状況について  
(2) 予防接種間違い事例について  
(3) 令和6年度尾張旭市予防接種実施計画（案）について  
(4) その他
- 8 会議の要旨

---

1 開会	
事務局	健康課長より開会宣言
委員長	挨拶 11月になり、インフルエンザが猛威を奮っており、コロナは下火になっている。最近では、休日診療に患者が200人程受診され、うち100人以上はインフルエンザでコロナは1桁程である。コロナとインフルエンザワクチンの同時接種も可能となっているが、誤接種のリスクもあるため、ご留意いただきたい。 今後も引き続き、感染症予防に努めてご自愛いただきたい。

### 2 議題

- (1) 令和4年度及び令和5年度尾張旭市予防接種実施状況について  
資料に基づき、令和4年度及び令和5年度尾張旭市予防接種実施状況について説明。

委員 A	接種率が 100%を超えるのはどのような状況か。転入者などが影響しているのか。
事務局	例えば日本脳炎のように定期接種の接種可能な期間が長期にわたるものがあるが、市が県や国に報告する場合、国の定める「標準的な接種期間」に接種対象となる人数を対象者として抽出している。そのため、標準的な接種期間以外に定期接種として接種した者が多い場合、100%を超えてしまうことがある。
委員 B	高齢者インフルエンザは、開始時期が10月1日と早かったり、補助金があったりなかったりなど様々であるがどうか。
事務局	令和2年にコロナの流行が始まり、コロナとインフルエンザの同時流行の可能性があったため、令和2年度と令和4年度は、コロナ支援の県の補助事業により、自己負担額が無償化となっている。また、これらの年度は、開始時期は10月1日からであり、接種率は高い。 今年度は、愛知県の補助がない状況にある。
委員長	今年は、インフルエンザが流行しているが、小児インフルエンザの補助はないのか。
事務局	令和2年度から令和4年度は新型コロナ対策の一環として、小児のインフルエンザの助成があったが、予算的なこともあり、今年度はない状況にある。
委員 A	子宮頸がんワクチンは対象者数が多いが、接種者数が少ない。通知は送っているか。
事務局	今年度の4月から7月頃にかけて、中学1年生から高校1年生へ勧奨通知を送付している。また、小学6年生へは、二種混合を送付するタイミングで併せて勧奨通知を送付している。 市民からの問い合わせでは、以前は、安全性に対する心配の声もあったが、最近は、交互接種や副反応の相談などで、接種を迷っている相談はあまりない。
委員 A	接種率の低さについては、行政はどのように考えているか。
事務局	積極的な勧奨を控えていた頃の印象がひきずられているのではないかと。通知を出す程度との反応はあるが、接種率は伸び悩んでいる。心配の問い合わせも多くないが、接種しようという行動につながらないのが現状である。
委員長	全国的に見ても、HPVの接種率は2割を超えている自治体はほぼない。ワクチンに対する怖いイメージがあるのではないかと。ネットなどの情報も信憑性がなく垂れ流しの状況。接種率を上げるには、行政だけでは難しいと考える。
委員 A	市民講座、キャンペーンなど行政と医療機関が一体となって取り組む必要がある。

(2) 予防接種間違い事例について

資料に基づき説明。

委員長	令和5年度予防接種間違い事例の9月26日の間違い事例について、9月20日以降は、オミクロン株対応2価ワクチンは使用できないことは何度もFAXが流れており承知していたが、忙しいと情報に気づかないことがある。 使用できないワクチンは、医療機関に置いておくのではなく、行政で回収し、廃棄をしていただきたい。
-----	---

事務局	3 5 医療機関あるため、行政での回収と廃棄は難しい。市もワクチンに関する情報提供に FAX に頼っていたところがある。制度の変更がある場合など重要な内容は、確認が必要である。
委員長	重要な内容の場合は、FAX に確認欄などを設けて承知したかどうかの返信をもらうような仕組みにし、確認を促して欲しい。
事務局	承知した。
委員 C	令和 5 年度予防接種間違いの 3 番のロタワクチンの誤接種について、誤接種した医療機関には、ロタテックを置いていなかったということか。この場合は、誤接種した医療機関で 1 種類のワクチンしか接種できないのであれば、その時点で断るのが対策であるか。
事務局	誤接種をした医療機関には、ロタワクチンは 2 種類あったが、母子手帳の確認もれが要因で誤接種へとつながった。
(3) 令和 6 年度尾張旭市予防接種事業実施計画（案）について 資料に基づき説明。	
委員 A	5 種混合は令和 6 年 4 月から定期になるのか。メーカーからの情報だと、4 月からと聞いている。
事務局	詳しい情報は届いておらず、令和 6 年度以降という情報のみである。
委員 B	5 種混合になったら、1 歳超えた時の追加接種の標準期間も変更となるのか。
事務局	まだ、そこまでの詳しい情報が届いていないため、お答えできない。
委員長	BCG 個別接種について、接種した時にひっかき傷が起こった場合を踏まえて、土曜日の接種は控えた方が良いか。
委員 C	薬剤部は、リファンピシン軟膏の調剤が可能であるが、薬剤部の都合もあり、土曜日の接種は控えていただきたい。また、平日 16 時までの受診をお願いしたいため、接種は平日の午前中が良い。
(4) その他について	
事務局	インフルエンザが流行しており、小学校では学級閉鎖が出ている。今年のインフルエンザの特徴を教えてください。
委員 A	通常は、ソ連型かまたは、香港型のどちらか一方であるが、現在は、A 型の中でも H1、H3 が同時流行している。よって、同シーズンに短期間で 2 回かかるという報告がある。また、インフルエンザ以外のアデノウイルスや溶連菌などの感染症も流行しているため、気を付けていただきたい。
事務局	インフルエンザの予防接種を打つ前にかかってしまうケースも多い。その場合、予防接種は打った方が良いか。その場合、どのくらいの期間を空けたら良いか。
委員 A	インフルエンザワクチンは 2 種類（A 型、B 型）で構成されているためインフルエンザにかかっても接種した方が良い。接種のタイミングは、症状消失後、1～2 週間後に接種をすると良い。

事務局	インフルエンザは早い時期から流行しており、混合ということもある。終息した後、再度、流行するのか。
委員 A	インフルエンザの流行の動きは読めないが、おそらく流行期間は例年より長期間となるであろう。
事務局	今、流行しているので、インフルエンザの予防接種を迷う声も聞かれるが、接種を促した方が良いか。
委員 E	インフルエンザの予防接種はそもそも重症化予防である。
委員 A	予防接種を迷うなら、打った方が良い。
事務局	HPV の周知方法について、若い世代の方の性感染症も含めて、健康講座、教育を行っていただくことは可能であるか。
委員 A	<p>医師会と協力して実施することは可能だと思う。「みんパピ」という団体と県小児医師会が協力して、オアシス 2 1 で無償で市民公開があった。参考にさせていただき、利用していただけると良い。若い人は、がんと直結しないことが多いが、唯一、がんを防げる有用なワクチンであることを知っていただきたい。</p> <p>通知文に有用なワクチンであるといった良いイメージを持てるような文を加えて、通知すると良い。</p>

### 3 閉会